⑹　空気調和設備、給湯設備、換気設備、昇降機等

判断基準中目標及び措置部分の１　エネルギー消費設備等に関する事項の⑹空気調和設備、給湯設備、換気設備、昇降機等の項目で規定する目標及び措置の実現に資する設備等のうち空気調和設備の具体例としては、次に掲げる設備等が有効であることから、中長期的な計画の作成における検討対象として掲げるものである。

①　空気調和設備

設備・システム・技術名	具　体　的　内　容	導入の可能性のある業種・工程
蓄熱式空気調和システム	蓄熱槽を介することにより空気調和用熱源機の負荷変動を小さくし運転効率の向上が図れるもの、又は、工場の温排熱、冷房排熱の回収利用が図れるもの。	全業種
高効率ヒートポンプ	冷暖房に利用する電気式ヒートポンプで、圧縮機の性能向上や熱交換性能を向上させたもの。	全業種
熱回収型ヒートポンプ方式熱源装置	ヒートポンプサイクルにより冷暖房を行う際に冷房排熱又は温度差エネルギーを回収して蓄熱槽に蓄え、暖房に利用するもの。	全業種
高効率ターボ冷凍機	定格運転時に成績係数（ＣＯＰ）が６程度以上の冷凍機。圧縮系をインバーター駆動するものでは、冷却水温度が低い場合には更にＣＯＰ向上が顕著である。	全業種
エンジン駆動ヒートポンプシステム	エンジン駆動のヒートポンプで冷暖房を行うとともに、暖房時にはエンジンからの廃熱を利用して冷媒を加熱するもので、エネルギーを有効に利用することができるシステム。	全業種
改良型吸収冷温水機	吸収液の再生若しくは凝縮工程における廃熱により吸収液の予熱または温水の製造を行う機構を有するもので、二重効用型や三重効用型などがあり、従来型に比べて同量の冷温水を得るための燃料消費量が少ない冷温水機。	全業種
排熱等利用型吸収冷温水機	コージェネレーション設備の排ガス、排蒸気、排温水を熱源として利用する吸収冷温水機や、排ガス、排蒸気、排温水、太陽熱等を補助熱源として投入しエネルギー消費を抑えるタイプの吸収冷温水機。	全業種
遠赤外線利用暖房装置	遠赤外線照射により直接人体に伝えることにより暖房するもの。	全業種
デシカント空気調和システム	空気中の湿分を乾燥剤により直接吸湿することにより処理するシステム。過冷却・再熱方式に比べて高効率であり、乾燥剤の再生に排熱を利用できる場合にはより有効。	除湿、調湿、恒湿設備を使用する全業種
大温度差・変流量制御熱搬送システム	大温度差のとれる熱源機、熱交換器等により空気調和の熱媒体（水又は空気）の循環温度差を拡大することにより搬送動力を低減させるシステム。また、負荷に応じた変流量制御装置（ＶＡＶ制御装置、ＶＷＶ制御装置）を組み合わせるとより有効。	全業種
空気調和用搬送エネルギー効率化システム	熱媒体を液とガスの比重差で自然に循環させるもの、複数の空気調和ユニットを直列に配置し熱媒体を段階的に利用するもの。	全業種
水加湿による調湿方式	気化式加湿等、蒸気を使用せず水利用により加湿する方式で、中間期や冬期に冷房が必要でかつ加湿が必要な場合には冷房負荷を軽減することが出来る。	全業種
外気冷房空調システム	中間期や冬期に冷房需要が多い場合で、外気温度が室温より低い場合には、冷凍機を運転せずに送風運転のみを行う外気冷房システム。	全業種
空調ゾーニングの細分化	同一区画内の部屋などで負荷変動パターンや空調所要時間帯の相違、残業時の空調対策などを考慮して、空調制御ゾーニングの検討を行い、必要に応じて空調機ゾーンあるいは制御ゾーンの細分化を図る。	全業種
エアコン室外機への水噴霧装置	空調機の室外機に水を噴霧して冷却する装置で、冷房時にヒートポンプの効率を向上することができる。	全業種
クリーンルーム局所クリーン化技術	作業エリアの局所クリーン化を行うため、クリーンルーム全体のクリーン度の適正化とともにクリーンエア循環ファンの電力消費量を低減する技術（ＳＭＩＦ）。	半導体製造工程
空調デマンド制御	空調負荷に応じて工場一般空調の圧縮機をオンオフ制御する装置。	工場空調の必要な全工程
置換換気空調システム	工場内に設置している設備等から発生する上昇気流を利用して、工場内温度よりやや低い温度の空気を低速で吹き出す換気・空調システムで、従来のミキシング空調方式より給気温度を高く設定できるため省エネ運転となる（高天井空間の工場空調に適する）。	全業種

②　給湯熱源設備・システム

設備・システム・技術名	具　体　的　内　容	導入の可能性のある業種・工程
高効率ヒートポンプ給湯機	自然冷媒（CO_2）や新冷媒（Ｒ410Ａ等）を用い、電動ヒートポンプサイクルにより70℃以上の高温沸き上げが可能な高効率の給湯システム。ヒートポンプユニットと給湯ユニットで構成。	全業種
潜熱回収型給湯器	従来のガス給湯器では、約200℃の排気ガスを大気中に放出していたが、本給湯器は、捨てられていた排気ガスから水蒸気と熱を凝縮して熱の回収を行うことで約80℃まで排気の温度を下げ、その回収した熱を給水の予熱として活用する給湯器。	全業種
ガスエンジン給湯器	ガスエンジンで発電するとともに、エンジン排熱を給湯ユニットに貯め利用するもの。ガスエンジンユニットと給湯ユニットで構成。	全業種
各種熱利用型給湯システム	従来の給湯器の熱源の一部として太陽熱・地中熱や他の機器の廃熱等を活用したり、異なる熱源の給湯器を組み合わせ効率的に運用すること等により、従来に比べ一次エネルギー使用量を抑えることができるシステム。	全業種
スケジュール給湯制御システム	カレンダーによるスケジュール給湯制御を行い、夜間・休日などにおいて、給湯器の不使用時の停止並びに設定温度の変更を行うシステム。	全業種